

2026ZENKO in 大阪 第12 分科会

武器輸出のためのOSA、「国益」追求の ODAに反対しよう



「あぶくま」型護衛艦

2026ZENKO in 大阪 第 12 分科会

- 日時：7月26日（日） 9：30～12：30
- 会場：大阪府中央区、エルおおさか6階研修室4（右下図）

■ 内容

- ① 基調報告
安全保障戦略に位置づけられるOSA（政府安全保障能力強化支援）とODA（政府開発援助）の変容（仮称）
- ② 特別報告（インドネシア現地調査報告）
「コトパンジャン・ダム建設によって影響を受けた伝統行事を復活させた住民の闘い」（仮称）

■ 当日参加費（1日券）

一般 1,600 円、学生、障がい者、非正規職、無職 800 円
オンライン参加 800 円（ZOOM 視聴）



政府は4月21日、防衛装備移転三原則の運用指針を改定、「5類型」を撤廃し、殺傷能力のある武器の輸出を全面的に解禁しました。3年前に創設されたOSAは、「同志国の安全保障上のニーズに応え、資機材の供与やインフラの整備等を行う、軍等が裨益者となる新たな無償による資金協力の枠組み」とする軍事援助で今年度181億円に達しています。外務省は、「同志国」があいまい、恣意的な用語であり、途上国だけが対象ではなくどんな国にも軍事支援ができることを認めています。

そして、「5類型」撤廃後の輸出第1号として、フィリピンへの海上自衛隊の中古の「あぶくま」型護衛艦の輸出を公言しています。また、年内とされる安保3文書改定に向け、自民党は「新しい戦い方」として攻撃用ドローンの開発を提言し、「定期的需要として東南アジアへの供与支援」（6月10日朝日新聞）としてOSA活用を狙っています。また、ODAとの連携も進められようとしています。

分科会では、こうした情勢を踏まえるとともに、これまでのODA政策の被害実相をインドネシアの現地調査等から明らかにしながら、グローバルサウス（国ではなく、グローバル資本と闘う人々）とともに、OSA拡大、「国益」ODA路線と対決する方針を議論したいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしています。